

令和４年度第１回 水道分野における官民連携推進協議会

酒田市上下水道お客さまセンター 包括的民間委託について

山形県酒田市上下水道部

酒田市の概要



○人口 98,182人(R4.3.31時点)

○H17.11 1市3町(酒田市・八幡町・松山町・平田町)による合併

○H29.4 下水道事業に地方公営企業法を全部適用、水道局と組織統合を行い「酒田市上下水道部」となる

酒田市水道事業の概要

➡ 給水開始 昭和5年

➡ 給水区域面積 279.77km²

➡ 1日最大給水量 36,409m³

これまでの委託までの経過

個別委託の経過

- ➡ S 6 0 メーター一斉交換業務委託
- ➡ S 6 3 検針業務委託
- ➡ H 1 閉開栓業務委託
- ➡ H 1 3 庁舎警備業務、時間外窓口対応委託

包括委託の経過

- ➡ H 2 6 料金徴収等管理業務委託
(各種受付窓口、料金徴収関連等を個別委託と包括)
- ➡ H 2 9 料金徴収等包括的管理業務委託
(下水道普及訪問、下水道受益者負担金徴収等を追加)



R 2 包括委託の概要

システム構築及び料金徴収関連業務

- ・ システム構築等電子計算処理業務
- ・ 料金徴収等関連業務
- ・ 給排水工事関連業務
- ・ 管路維持関連業務

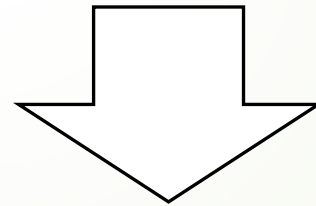
庁舎警備及びメーター管理等附帯業務

- ・ 庁舎警備及び管理業務
- ・ メーター検針及び管理業務
- ・ 貯水槽水道関連業務
- ・ 下水道普及調査関連業務

R 2 事業者選定に至るまでの流れ

サウンディング調査の実施

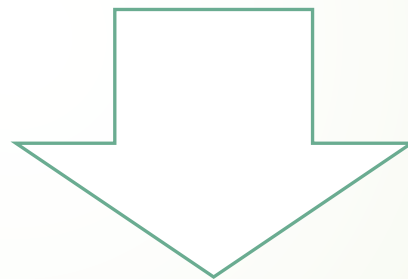
- サウンディング調査は、事業者との対話を通じて、お互いが持続可能で、最大の効果を得られるようにすることを目的とした。
- 申込があった事業者からの意見・要望等のやり取りを行った。



委託の手法を検討

特別目的会社（SPC）に至った経緯

- 委託業務の追加（システム調達や漏水調査業務等）により、業務内容が多岐にわたる
- サウンディング調査結果も反映

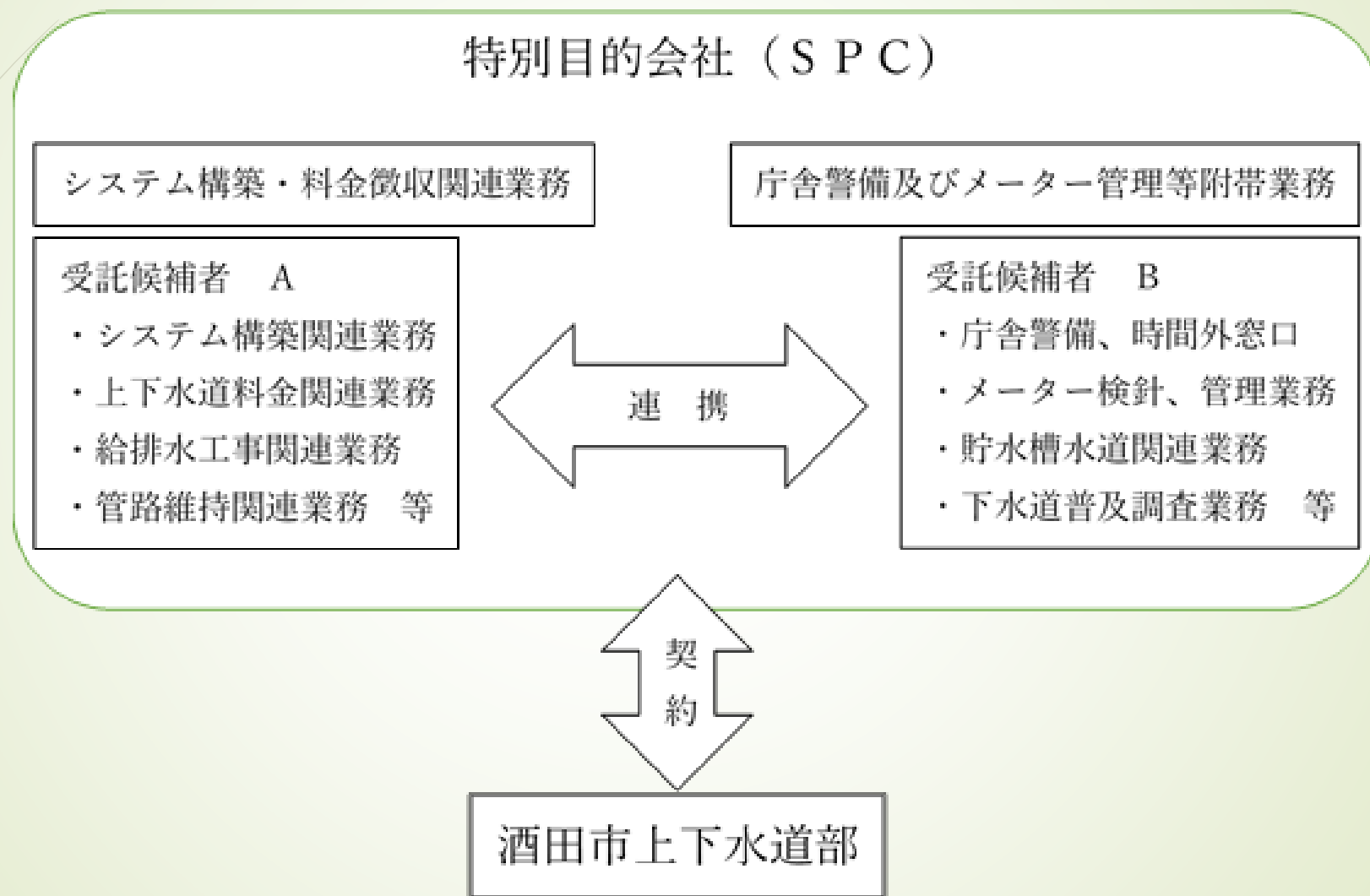


特別目的会社（SPC）による包括委託を行う

包括委託の手法について

- プロポーザルにより選定した2者から会社を設立してもらい、その事業者と契約することを委託の条件として、募集要領に記載した。
- 料金システム関連業務と庁舎警備等関連業務を分けて、料金システム関連業務から全体の総括（指揮監督）する事業者を出してもらうことを募集要領に記載した。

特別目的会社（SPC）でのイメージ





事業者選定の審査について

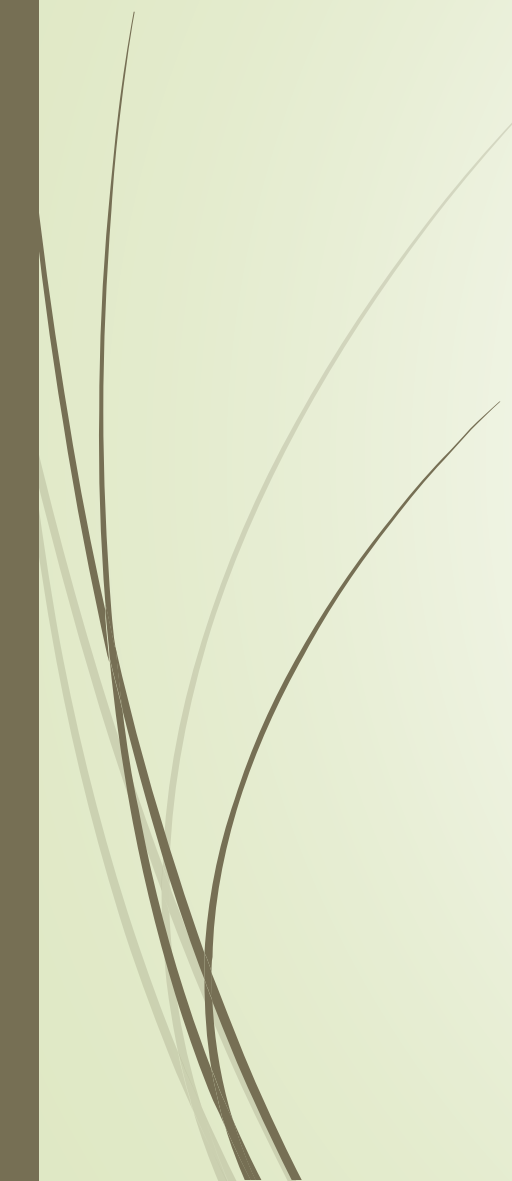
- 特別目的会社（S P C）設立という手法から、業務の運営に関する部分を重視した。
- 5人の審査員から40項目を5段階評価で採点してもらい、最高点を獲得した事業者を選定する。

事業者選定までの流れ

- ➡ H 3 1 . 2 サウンディング調査実施
- ➡ R 1 . 7 ~ 事業者選定委員会
- ➡ R 1 . 7 公募型プロポーザル告示・申し込み開始
- ➡ R 1 . 8 事業者説明会
- ➡ R 1 . 9 業務提案（プレゼン・ヒアリング）
- ➡ // 事業者選定
- ➡ R 1 . 1 2 業務引継ぎ開始
- ➡ R 2 . 4 委託契約（R 7 . 3 までの5年）



事業者選定後から委託開始まで

- 仕様書の作成（リスク分担など協議）
 - 委託料に関する協議（委託予定業務の増減）
 - 会社設立までの選定事業者同士のやり取りの経過報告等
- 



業務の引継ぎ

- R 1 までの受託事業者からの引継ぎ
(大半の従業員が再雇用)
- 追加業務の部職員からの引継ぎ
- 新料金システム稼働までの旧システムの稼働期間延長の対応
(新料金システム稼働 R 2 . 1 0 のため)



委託後の状況について

委託の効果

- マニュアルの改定
- システム関連で、作業従事者とシステム担当の連携
- 緊急時対応の迅速化

課題・問題

- コロナ対応
- S P C内での一部連携不足

ご清聴ありがとうございました。



曝気槽

(ばっきそう)

酒田市上水道創設当初の昭和5年に築造された除鉄設備

近代水道百選に選ばれた（昭和60年）